

◆ 打込み時のコンクリート温度が35℃を超える可能性がある場合には、**流動性を長時間保持し、凝結を遅延できる混和剤**を用いたコンクリートを使用する。



	JASS 5 暑中コン指針	JSCE 示方書
35℃以上への対応	遅延型高性能AE減水剤を用いたスランプ21cmのコンクリートを条件に荷卸し時に38℃まで許容	流動性を長時間保持し、凝結を適切に遅延できる混和剤を用いたコンクリートを条件に打込み時38℃まで許容
スランプ保持性	20℃静置で60分経過後のスランプロスが6cm以内	36±2℃環境に静置で60分経過後のスランプロスの低下が6cm以内
凝結遅延性	20℃環境で貫入抵抗値0.5N/mm <sup>2</sup> に到達する時間T <sub>20</sub> に0.65をかけたT <sub>38</sub> 3.5時間以上	36±2℃環境で貫入抵抗値が0.1N/mm <sup>2</sup> に到達する時間が3.5時間以上

## 混和剤の種類

● **プラント添加型の混和剤**： 一般の暑中コンクリートの配合の混和剤を、評価基準を満足するプラント添加型の混和剤に置き換えたコンクリートを用いることを標準。

● **別途添加型の混和剤**： 一般の暑中コンクリートの配合をコンクリートプラントで製造し、**出荷時あるいは施工現場の到着後に評価基準を満足する混和剤を別途添加する（事前に添加量や添加方法を検討）。**

## 7.5 打込み

- (1) コンクリートの打込み温度は、38℃以下とする。
- (2) コンクリートの練混ぜから打終わりまでの時間は、1.5時間以上とする。
- (3) コンクリートを2層以上に分けて打ち込む場合、許容打重ね時間間隔は2時間以内とする。

		高性能AE減水剤	
		標準型	遅延型
圧縮強度比 %	材齢7日	125以上	125以上
	材齢28日	115以上	115以上
経時変化量	スランプcm	6.0以下	6.0以下
	空気量 %	±1.5以内	±1.5以内